



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年8月12日

上場会社名 株式会社ライトアップ
 コード番号 6580 URL <https://www.writeup.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白石 崇
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 村越 亨
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5784-0700

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	345	9.6	26		26		21	
2020年3月期第1四半期	315	6.0	28		29		18	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	8.03	7.97
2020年3月期第1四半期	7.16	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	1,868	1,643	87.9	628.32
2020年3月期	1,982	1,622	81.8	620.31

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 1,643百万円 2020年3月期 1,622百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		0.00	0.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,089	12.8	405	57.3	404	57.9	280	82.6	107.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	2,903,000 株	2020年3月期	2,903,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2021年3月期1Q	287,972 株	2020年3月期	287,923 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	2,615,059 株	2020年3月期1Q	2,612,700 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって、予想の業績と異なる場合がありますのでご了承下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府より発令された緊急事態宣言及び各地方自治体から発信された休業要請や外出自粛要請など新型コロナウイルス感染症の流行による影響により企業活動や個人消費が大きく収縮し、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社は、在宅勤務や時差出勤の実施など新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、「全国、全ての中小企業を黒字にする」という理念のもと、クラウドソリューション事業とコンテンツ事業を展開してまいりました。この結果、当第1四半期累計期間の売上高は345,626千円（前年同四半期比9.6%増）、営業利益は26,608千円（前年同四半期は28,931千円の営業損失）、経常利益は26,793千円（前年同四半期は29,034千円の経常損失）、四半期純利益は21,008千円（前年同四半期は18,717千円の純損失）となりました。

なお、当社は、下期に売上が偏重する傾向にあります。これは、クラウドソリューション事業において、Jエンジンのコンサルティング内容に含まれる公的支援制度活用支援サービスの提供開始時期が年度の更新作業等で期初数か月ずれることや、年度末の3月に公的支援制度の申請締切が集中すること等に起因いたします。また、コンテンツ事業においては、12月及び3月に顧客企業に対する納期が集中する傾向にあります。これらの要因により、今期の売上予算につきましても、下期に売上が偏重する計画を立てております。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

クラウドソリューション事業におきましては、パートナー企業と共同で実施するIT・人材・マーケティング関連商材の共同開発、共同仕入れ及びそれら企業への営業支援を行っている「JDネット」サービスと、経営課題解決エンジン「Jエンジン」を軸にIT・人材・マーケティング・資金確保の4つの視点から経営課題の解決施策を提案するコンサルティングサービスを展開してまいりました。当第1四半期累計期間は、JDネットにおける新規パートナー企業の加入増やJエンジンにおけるコンサルティングサービスの売上が堅調に推移いたしました。これは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、公的支援制度の活用ニーズが大きく増加したことが起因しております。補助金・助成金診断システム「Jシステム」のOEM提供が堅調に進んでおり、そこからのコンサルティング受注が増加しております。また、従来より実施していた金融機関等と共同開催していた経営支援セミナーを単独でのオンラインセミナーに変更して実施したことにより、集客コスト等を大幅に削減することができております。採用需要の減退に伴い採用支援サービスの売上が急減したものの、結果、そのマイナス分を補う売上および利益を確保することができました。

この結果、同セグメントの売上高は283,438千円（前年同四半期比21.4%増）、セグメント利益は69,327千円（同1,139.4%増）となりました。

コンテンツ事業におきましては、業種や規模を問わず、様々な企業の「メール・Webマーケティング」等の企画制作の受託サービスを展開しており、市場環境の変化に合わせてサービスの受注拡大と生産性向上に努めてまいりました。当第1四半期累計期間は、メール分野は堅調でしたが、ソーシャルメディア分野及びコンテンツ分野においては新型コロナウイルス感染症拡大により受注件数の減少や制作リードタイムの長期化等の影響を受け減収となりましたが、利益面では前年同四半期と同水準となりました。

この結果、同セグメントの売上高は62,187千円（前年同四半期比24.1%減）、セグメント利益は18,826千円（同2.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比べ113,646千円減少し、1,868,733千円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が144,224千円、現金及び預金が8,480千円、貸倒引当金が8,657千円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末と比べ134,576千円減少し、225,647千円となりました。これは主に、買掛金が41,083千円、未払法人税等が53,087千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末と比べ20,930千円増加し、1,643,085千円となりました。これは主に、利益剰余金が21,008千円増加したことによるものです。純資産の内訳は資本金が386,381千円、資本剰余金が304,281千円、自己株式が△284,270千円、利益剰余金が1,236,693千円であります。

なお、自己資本比率は87.9%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月15日に「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、通期中継続すると予想しており、今回の決算短信の業績もその予想を反映した内容となっております。

今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,496,233	1,487,753
受取手形及び売掛金	393,979	249,754
仕掛品	463	1,644
貯蔵品	968	934
その他	43,002	69,932
貸倒引当金	△82,255	△62,697
流動資産合計	1,852,391	1,747,321
固定資産		
有形固定資産	11,146	10,333
無形固定資産	15,575	14,728
投資その他の資産		
敷金	81,183	79,501
その他	72,259	77,925
貸倒引当金	△50,176	△61,077
投資その他の資産合計	103,266	96,350
固定資産合計	129,988	121,411
資産合計	1,982,379	1,868,733
負債の部		
流動負債		
買掛金	70,626	29,542
短期借入金	30,000	20,000
未払法人税等	56,118	3,030
前受金	102,784	113,064
その他	97,697	57,239
流動負債合計	357,226	222,876
固定負債		
リース債務	2,997	2,771
固定負債合計	2,997	2,771
負債合計	360,224	225,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,381	386,381
資本剰余金	304,281	304,281
利益剰余金	1,215,684	1,236,693
自己株式	△284,191	△284,270
株主資本合計	1,622,154	1,643,085
純資産合計	1,622,154	1,643,085
負債純資産合計	1,982,379	1,868,733

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	315,452	345,626
売上原価	116,358	90,296
売上総利益	199,094	255,329
販売費及び一般管理費	228,025	228,720
営業利益又は営業損失(△)	△28,931	26,608
営業外収益		
受取利息	0	0
その他	-	299
営業外収益合計	0	299
営業外費用		
支払利息	103	113
その他	-	0
営業外費用合計	103	114
経常利益又は経常損失(△)	△29,034	26,793
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△29,034	26,793
法人税、住民税及び事業税	△266	690
法人税等調整額	△10,050	5,093
法人税等合計	△10,316	5,784
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,717	21,008

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	クラウドソリューション 事業	コンテンツ 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	233,512	81,939	315,452
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	233,512	81,939	315,452
セグメント利益	5,593	18,342	23,936

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	23,936
全社費用(注)	△52,867
四半期損益計算書の営業損失	△28,931

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	クラウドソリューション 事業	コンテンツ 事業	
売上高			
外部顧客への売上高	283,438	62,187	345,626
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	283,438	62,187	345,626
セグメント利益	69,327	18,826	88,153

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	88,153
全社費用(注)	△61,544
四半期損益計算書の営業利益	26,608

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。